



亀山駅前の新たな図書館の実現に向けて

亀山市は、亀山駅周辺整備事業における公共的機能の中核となる新たな図書館の整備を進めております。今般、この新たな図書館の基本的な方針や目標を示す「亀山市立図書館整備基本計画」を、教育委員会において策定いたしました。

基本計画の前提として、昨年7月に策定した「亀山市立図書館整備基本構想」においては、その基本理念を「学びの場からつながる場へ」とし、そのコンセプトを「知る（ち）」、「学ぶ（ま）」、「楽しむ（た）」（ち・ま・た：古代における道の交差点）としてお示しいたしました（裏面参照）。基本計画では、基本理念やそのコンセプトをふまえ、ワークショップなどでいただいたご意見等を反映し、その実現のための考え方を整理いたしました。結果として、図書館本来の機能に市民交流や情報発信の機能と展示や発表活動機能を併せ持つ「多機能型図書館」を目指すものといたしました。

また、基本計画の策定にあたっては、公開型・訪問型あわせて12回の市民ワークショップを開催したほか、団体などとの意見交換会、意見箱などを通じて、図書館に対する多様な思いをいただきました。行政主導ではなく、市民の皆様には、建設的かつ創造的な議論を積み上げていただいたものと感謝申し上げます。

今後は、新図書館の実現に向けて、亀山駅周辺整備事業の関係機関などと十分に連携を図り、建築基本設計との整合や管理運営にかかるさまざまな課題について、引き続き市民ワークショップなどを積み重ねながら、着実に進めてまいります。



【参考】

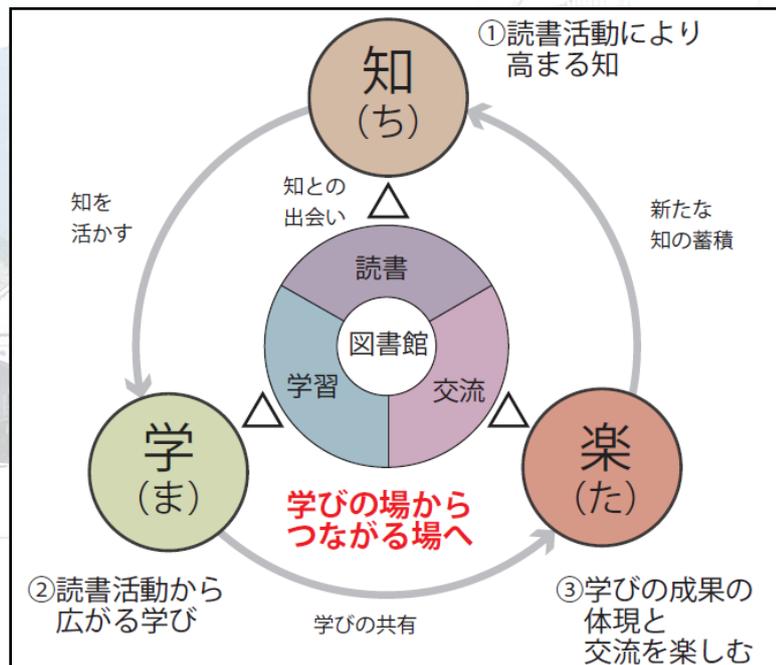
○新図書館の基本理念とそのコンセプト

基本理念：学びの場からつながる場へ

基本理念のコンセプト：～知る（ち）・学ぶ（ま）・楽しむ（た）～

- ① 読書活動により高まる知（知・ち）
- ② 読書活動から広がる学び（学・ま）
- ③ 学びの成果の体現と交流を楽しむ「楽しむ」（楽・た）

○コンセプトの概念図



※「亀山市立図書館整備基本計画」28P・29Pから抜粋